



神社本庁

「過疎地域神社活性化推進事業」指定神社

期間：令和三年七月一日～令和六年六月三十日



と も か き

第 29 号

発行：妻垣神社社務所
宇佐市安心院町妻垣 203 番地
発行日：令和 6 年 5 月 15 日
電話：0978-44-2519
<http://www.tumagakijinnjya.com>

↑ 早期復興を祈念して玉串を捧げる宮司

能登半島地震復興祈願祭齋行

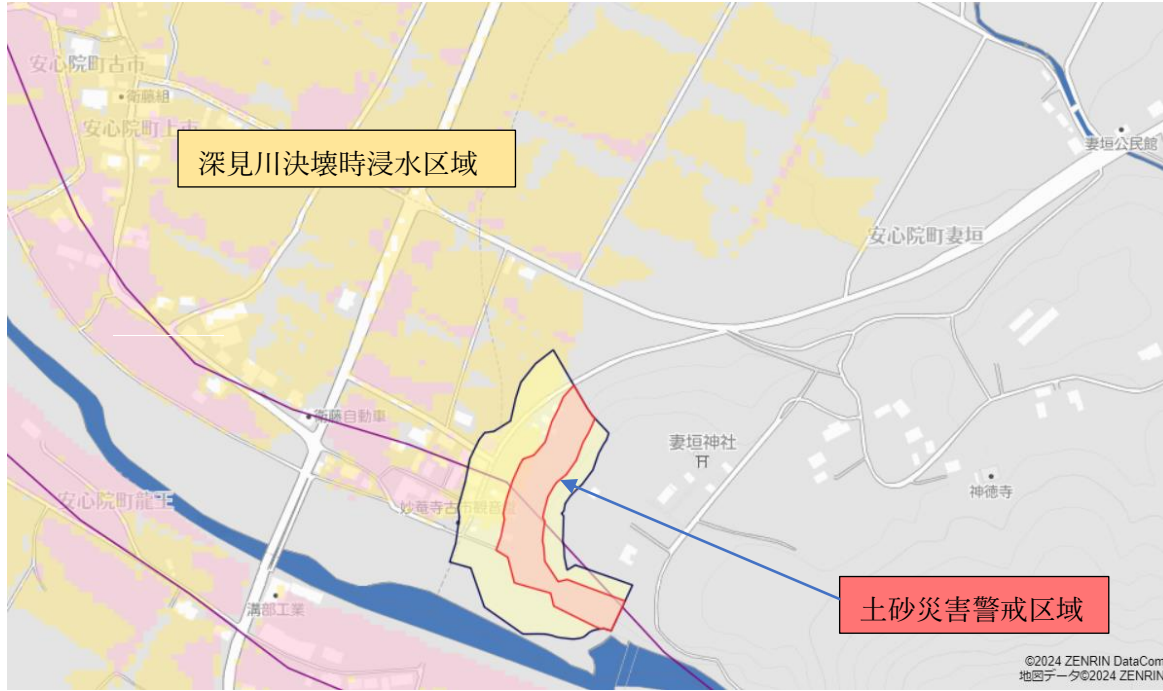
**頻発する地震や豪雨
危険な場所はすぐそばにある**

本年一月一日、能登半島において最大震度七の大地震が発生しました。輪島の朝市周辺の大火災、道路の寸断、家屋の倒壊。そして多くの尊い犠牲を出すなど甚大な被害となっております。

当社では三月二十四日の祈年祭にあわせて復興祈願祭を齋行。また些少ではありますが神社本庁を経由して義援金を被災地へお送り致しました。一日も早い復興をお祈り申し上げる次第です。

さて、今年に入り全国各地で地震が頻発しています。大分県でも四月十七日に地震がありました。また、地球温暖化に伴う異常気象も毎年のように発生しています。このような状況の中、明日はわが身と思ひ、日頃より対策を講じる必要があるのではないのでしょうか。ハザードマップや避難経路などの確認は特に大事なことです。(神社周辺のハザードマップは次頁に掲載)

神社が鎮座する妻垣台地は強固な岩盤できています。この場所に建てた先人の目に脱帽します。しかしハザードマップを確認すると、頓宮裏手の崖は危険地帯に指定されています。近年、大雨になると、山から流れ出る大水は危険地帯に流れ落ちるのちろんのこと、神社周辺の排水機能ではカバーできず、境内はプールのようになってしまう。それどころか、土砂もえぐれてしまい、石垣、石段などの崩壊にも繋がる恐れがあります。



仮に神社横の深見川が決壊ともなれば、浸水する家屋田畑の範囲は尋常ではありません。今年には偏西風の蛇行によって梅雨時期は例年以上の大雨となり、夏の気温も昨年以上の予報がされています。少しでも被害を少なくすべく、常日頃より対策を講じてまいりましょう。

安倍昌吾神職

当社権禰宜を拝命



四月一日付で、安心院町木裳出身の安倍昌吾神職が当社権禰宜として奉仕することとなりました。四月二十八日には、宮司と家族の立ち合いのもと、権禰宜拝命奉告祭を齋行。宮司より辞令が手渡されました。

昨年夏に山口県神社庁にて神職資格「直階」を取得し、神社の祭典に奉仕しながら学ぶ中、ご縁を戴き、この春より妻垣神社の権禰宜として奉仕させて頂くことになりました。

神職の家系ではない私がこのようなご縁を戴きましたのも、関わってくれた数多くの方々にも他ありません。感謝申し上げます。

拝命した後は古の遺訓を受けつぎ、大神様・氏子皆様のお役に立てるよう努めて参る所存です。

神職としてこれから学ぶことが多く、至らぬ事も多々ありますが、御指導御鞭撻の程宜しくお願い致します。

権禰宜 安倍 昌吾

辰年・巳年生まれの守護本尊

普賢延命菩薩(宇佐市有形文化財)

かつて神社境内には延命院普賢寺(天台宗、宇佐宮比売神宮末寺)というお寺がありました。明治の廃仏毀釈によって廃寺となりましたが、本尊の普賢延命菩薩は、市の文化財として同地区の曹洞宗八幡山神徳寺に現在、安置されています。

普賢菩薩は釈迦如来の脇侍仏であり、慈悲の仏とされます。また辰年・巳年生まれの守護本尊としても知られ、私たちが後世に残す大事な遺産の一つです。



御神木の乳イチョウ

神宮寺跡には御神木の銀杏の木が聳えています。この御神木は「乳イチョウ」として知られ、木の表面を削り煎じて飲むとお乳の出が良くなると言われ、多くの人の信仰を寄せてきました。あまりにも多くの人が押し寄せ、傷みが進んだため、一時期は神職が削るのみと制限するほどであったそうです。現在は雷によって親木が焼失していますが、脇よりの幼木が大きく成長しています。

特集 人みな神の御子の思想のもと、多くの若者が学んだ

NO.2

騰宮学館 誕生110年

今から110年前、妻垣神社境内に私学「騰宮学館」が創設された。創始者は宇佐市安心院町鳥越出身の若き神職林正木。若干26歳の若さで学校を興し、昭和17年、56歳で亡くなるまで中等教育に尽力した正木氏の人物像を卒業生などの証言を踏まえて紹介する。

林正木氏の出生

明治十九年、宇佐市安心院町鳥越（龍王村鳥越）の祠官林^{かしろ}純氏の長男として誕生。宇佐中学校、伊勢の神宮皇學館を卒業し、教師として広島呉中学校で教鞭を執っていたが、父の死により帰郷。山間部の中等教育向上のため、大正二年（1913）四月、騰宮学館を開校した。

反発をバネに校舎は私財を投じて建設

学館を開校するにあたり、教育の必要性が行き渡らない山間部にあつては当然のことながら様々な反発・批判があつた。中学校の恩師からは「若造のくせに、やれるものならやってみろ」との誹りまで受けた。正木氏は自らの田畑を売り、銀行に借金までして、大正三年（1914）、妻垣神社境内の1926坪に校舎を建設した。



→ 瘦型で鼻下に髭をたくわえていた。厳格な性格であつたが、寒さに弱く冬には襟巻を頭にかぶって授業をしていたと卒業生は語る。

林正木館長の人柄

卒業生は次のように語る。

林館長は、大変厳格で明けても暮れても恐ろしい先生であつた。妻垣神社の祭礼が近づくと三日三晩、神社に籠もって身を清め、『神明一筋』清廉潔白。『酷使・酷愛』人情に豊かな方で勉強をする気があれば、どんな家庭の子でも引き受けた。画家本広禮を育て、韓国の宋哲来の世話をした話は今でも語り継がれている。（林 誠）

皇典や文法を教え、宮司を務める神社の祭りには、実習を兼ね、生徒を連れて奉仕していた。そこでは一分の隙もなく祭式通りの極めて荘厳な神事が執り行われていた。生徒は緊張の連続であつた。また館長は文書にしたためた弔辞は読まなかつた。霊前の前では生きている人に語りかけるように流暢で心揺さぶるようなお別れのこゝとばを述べていた。館長のお人柄か、誠に感動的であつた。（上鶴 林）

熱血な人で清廉潔白、温情に溢れ、宿題など忘れると「自分の頼つてたを叩け」と言つて生徒に反省させていた。親の無い生徒も何人か預かり、「人皆神の御子」として我が子のように世話していた。（安部文雄）

林館長以外の先生たち

学館には林館長以外にも五〜八人ほどの教職員が教鞭を執っていた。そのうち二人を紹介する。

林 直木

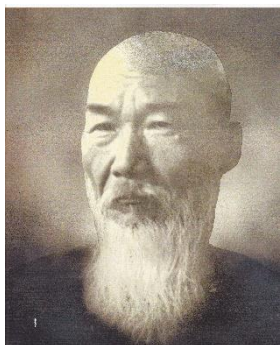
林館長の長男であり、館長とは昭和十一年からの七年ほど一緒に教鞭を執っていた。終戦後、神道指令・学制改革により学館は廃校を余儀なくされ、繰り上げ卒業を含め在学生全てを卒業させることに尽力。その後、残った校舎を活かして騰宮女子専門学校を開校。昭和四十六年の廃校まで校長として奔走。



妻垣常太郎

地元妻垣出身。妻垣彦郎の

長男で、父と共に安心院尋常小学校開校に尽力。師範学校卒業後、初代校長として安心院の教育界を牽引した。晩年は学館にて史学・漢文を教えていた。卒業生の河野港氏曰く、「妻垣先生の漢文の時間は眠つてばかり。起こされて読めと言われても読める筈がなく、皆から笑われた。」とある。百段下には教え子による顕彰碑が建っている。



半年に感謝し、半年を祈る

なごしおおはらえ

夏越大祓祈願祭

6月23日(日)午後3時より



当日の早朝、宮司が関の江の海岸に赴き、汲んだ潮水で心身共に浄めます

③ 潮搔神事

しおかき



① 人形流し

ひとがた

半年間、健康に過ごせたことに感謝し、自身の代わりに「ヒトガタ」を共鑰山の御神水で浄めます

② 茅の輪くぐり

ちわ

半年の無病息災を祈って、茅の輪をくぐります。茅の輪は7月中旬まで設置しております。



茅の輪御守

無病息災・延命長寿を祈って奉製した期間限定の御守です。

一体 500円



風鈴まつり

—短冊に願いごとを託して—

期間:6月~9月中旬まで



願い短冊200円(材料費、防水加工済み)

ゆらぎ珈琲舎

毎週水・木・金・土 11:30~16:00

神社駐車場横に待望のカフェができました。自宅の納屋を改装した店内はおしゃれな雰囲気です。県内外問わず若い女性を中心に多くのお客さんで賑わっています。事情によりお休みする場合がありますので、お店のInstagramで営業日をご確認ください。#ゆらぎ珈琲舎 お車は神社駐車場をご利用ください。

コーヒーは季節に併せた自家焙煎を使用。オーナー手作りのお菓子も人気です

